

財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 流山市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
22,702	854	1,243	24,799

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	36,645	35,575	1,070	741	554	38,247	
一般会計等	36,645	35,575	1,070	741		38,247	

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業	3,535	3,215	320	4,132	63	10,835	228	法適用
公共下水道特別会計	4,786	4,686	100	22	1,080	17,905	8,487	
西平井・鶴ヶ崎土地区画整理事業特別会計	1,384	1,346	38	-	394	2,914	-	
国民健康保険特別会計	13,824	13,793	31	31	1,088	-	-	
介護保険特別会計	5,934	5,751	184	184	943	-	-	
老人保健医療特別会計	9,321	9,315	6	6	911	-	-	
公営企業会計等計				4,375		31,654	8,715	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
北千葉広域水道企業団(水道用水供給事業)	13,148	9,981	3,167	7,345	-	55,946	185	法適用
千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	37,414	36,859	555	555	3,779	0	0	
千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通広域圏特別会計)	157	153	4	4	-	-	-	
千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治体警察センター特別会計)	221	204	17	17	-	-	-	
千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治体警察センター特別会計)	119	112	7	7	2	-	-	
千葉県後援高齢者施設広域連合(後援高齢者施設一般会計)	2,176	1,844	332	332	-	-	-	
東葛中部地区総合開発事務組合(一般会計)	1,490	1,330	160	153	7	-	-	
一部事務組合等計				8,413		55,946	185	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
流山市土地開発公社	△ 1	76	5	-	-	75	-	-	
地方公社・第三セクター等計			5	-	-	75	-	-	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		4,162	
減債基金		1,252	
その他充当可能基金		3,247	
充当可能基金計		8,661	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	7.70	2.98	△ 4.72	△ 12.10	△ 20.00	水道事業		142.0	
連結実質赤字比率		20.62		△ 17.10	△ 40.00	公共下水道特別会計		1.5	
実質公債費比率	12.6	8.7	△ 3.9	25.0	35.0	西平井・鶴ヶ崎土地区画整理事業特別会計		-	
将来負担比率		87.2		350.0					
財政力指数	0.91	0.93	0.02						
経常収支比率	88.1	90.3	2.20						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律△20%である(公営競技は0%)。